

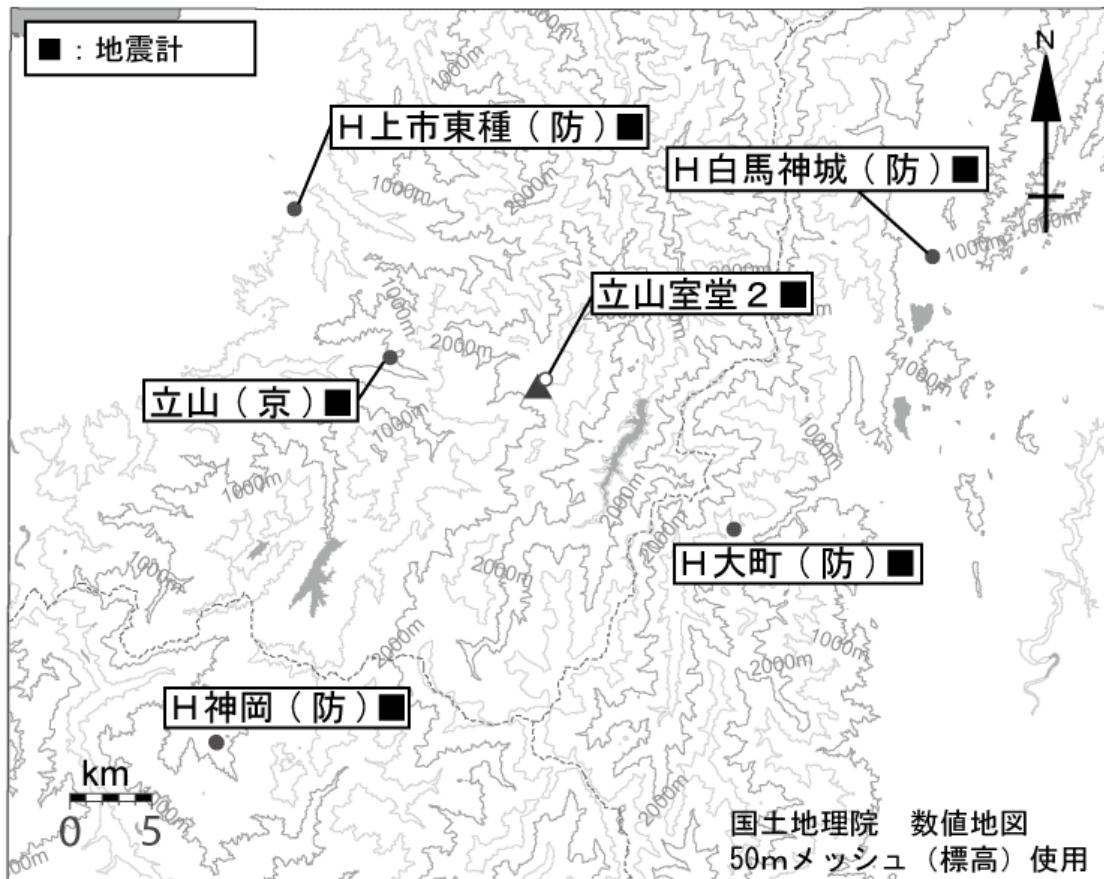
弥陀ヶ原の火山活動解説資料（平成 26 年 3 月）

気象庁地震火山部
火山監視・情報センター

弥陀ヶ原近傍の地震は少ない状態で経過しました。
立山地獄谷では以前から熱活動が活発に継続しており、この付近では火山ガスが高濃度になることがありますので、注意してください。
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報事項に変更はありません。

活動概況

- 地震や微動の発生状況（図 2）
弥陀ヶ原近傍を震源とする火山性地震の発生回数は少なく、地震活動は静穏に経過しました。
火山性微動は観測されませんでした。



小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
(防)：防災科学技術研究所、(京)：京都大学防災研究所

図 1 弥陀ヶ原 観測点配置図

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ (<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>) でも閲覧できます。次回の火山活動解説資料（平成 26 年 4 月分）は平成 26 年 5 月 12 日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、京都大学、名古屋大学及び独立行政法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ (標高)』『数値地図 25000 (行政界・海岸線)』を使用しています (承認番号：平 23 情使、第 467 号)。

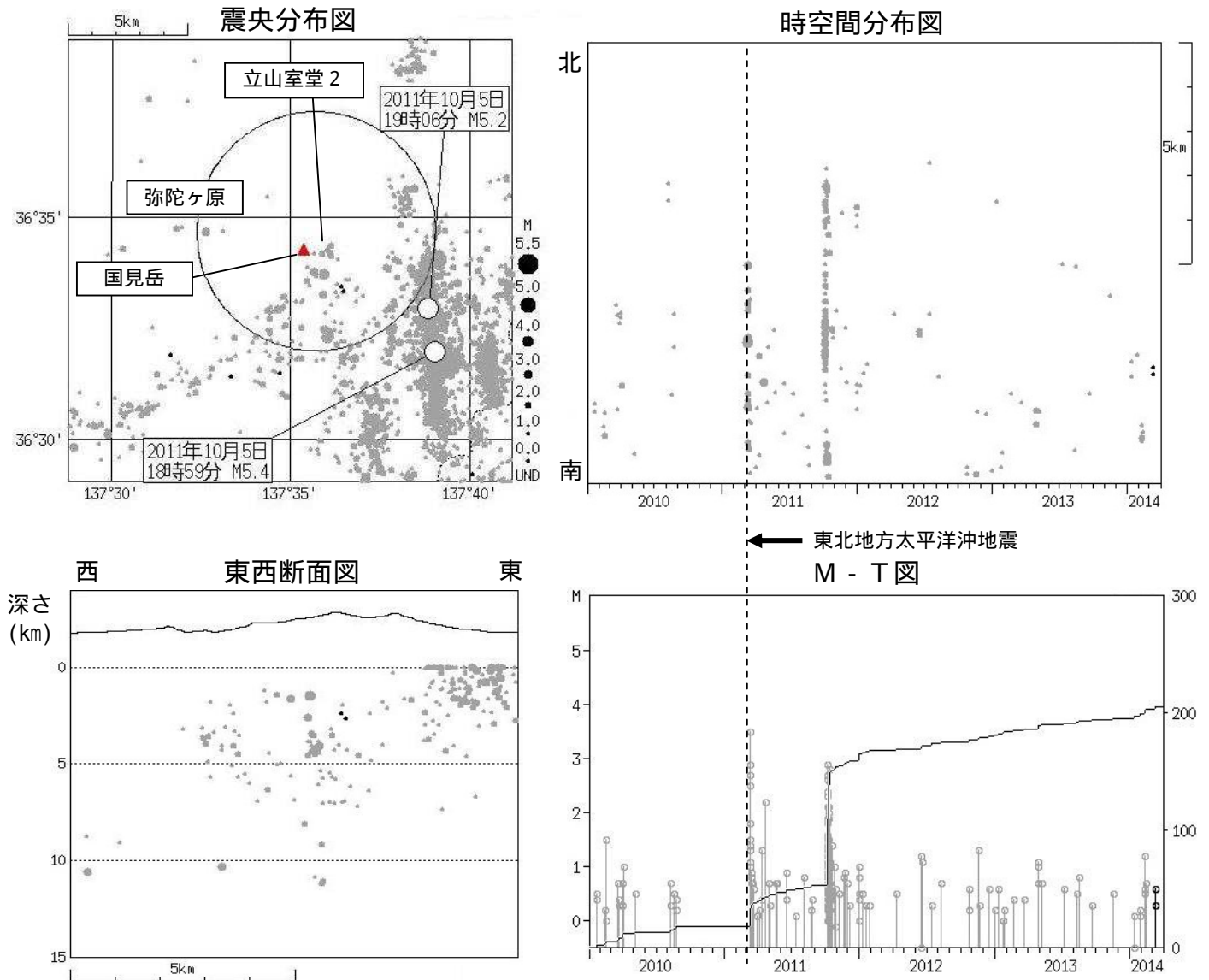


図 2 弥陀ヶ原 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動（2010 年 1 月 1 日～2014 年 3 月 31 日）
 : 2010 年 1 月 1 日～2014 年 2 月 28 日 : 2014 年 3 月 1 日～3 月 31 日
 ・ 緑色の点線の円は、立山室堂に設置した地震計（立山室堂 2）で S-P 時間 1 秒以内となるおよそその範囲を示します。
 ・ 周辺の地震活動は低下しました。
 ・ 弥陀ヶ原近傍の地震活動は、低調な状況で経過しました。
 ・ M（マグニチュード）は地震の規模を表します。
 ・ 図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。